

レジメン名 : mFOLFOX6 2週毎(ポンプ)

疾患名 : 大腸がん

投与間隔 (1コース期間) : 14日間

総コース数 : PDになるまで

特記事項 :

投与順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/m ² , V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp.	1 生食 100mL	1	瓶	点滴静注・メイン	15分	Day1	ルート確保用
	2 ハロ/セトロン点滴静注バッグ0.75	1	袋	点滴静注・メイン	15分	Day1	
	デキサート6.6mg	1	瓶				
	デキサート1.65mg	2	管				
	3 5%ブドウ糖 250mL	1	袋	点滴静注・メイン	2時間	Day1	オキサリプラチンと同時に2時間で投与
	レボホリナート	200	mg/m ²				
	4 オキサリプラチン	85	mg/m ²	点滴静注・側管	2時間	Day1	レボホリナートと同時に2時間で投与
	5%ブドウ糖 250mL	1	袋				
	5 フルオロウラシル	400	mg/m ²	点滴静注・メイン	急速静注	Day1	レボホリナート終了後全開で投与
	生食 50mL	1	本				
	6 フルオロウラシル	2400	mg/m ²	インヒューサーポンプ	46時間	Day1	ボラスのフルオロウラシル終了後46時間で投与 全量140mLとする
	生食 100mL	1	本				
	7 生食 シリンジ20mL	1	本	点滴静注・メイン		Day3	持続のフルオロウラシル終了後使用、フラッシュ用

減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)
好中球減少	500/mm ³ 未満	オキサリプラチンを65mg/m ² に減量 5-FUを20%減量(ボラス、持続ともに)	
血小板減少	50000/mm ³ 未満		
t-Bil上昇	5mg/dL以上	5-FU	投与中止

参考文献

- ① 大腸癌治療ガイドライン 医師用 2019年版
- ② 制吐薬適正使用ガイドライン2015年10月(第2版)
- ③ 改訂第6版がん化学療法レジメンハンドブック